

新						旧																																																															
<p>5-5 インラインXBRLファイルの作成 (略)</p> <p>5-5-1 数値の入力符号及び符号反転ラベル (negated ラベル) が設定された項目によるタグ付けの注意点 (略)</p> <p style="text-align: center;">図表 5-5-2 数値の入力符号</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">インラインXBRLの入力値(※1)</th> <th colspan="2">タクソノミ</th> </tr> <tr> <th>貸借区分</th> <th>計算リンクの加減算区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1</td> <td rowspan="4">財政状態計算書</td> <td>資産項目</td> <td>プラス</td> <td>debit</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>負債又は資本項目</td> <td>プラス</td> <td>credit</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>控除項目 (例: 自己株式)</td> <td>プラス</td> <td>上記設定の逆 (例: 自己株式はdebit)</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>資本項目のうち、残高が正負のいずれにもなり得るもの (例: その他の資本の構成要素)</td> <td>貸方残はプラス 借方残はマイナス</td> <td>credit</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>セグメント情報</td> <td>収入項目(※2)</td> <td>プラス</td> <td>要素に依存</td> <td>計算リンクには出現しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 項目に negated ラベルが設定される場合、「インライン XBRL の入力値」欄は、入力する値の符号とは逆の符号になります。 例) negated ラベルが設定された項目に sign 属性を設定する。 「1,234 百万円」と表示する場合: sign 属性に「-」 「△1,234 百万円」と表示する場合: sign 属性は不要</p> <p>※2 収入項目のうち、同一企業内の他の事業セグメントとの取引による収益は、Elimination of intersegment amounts [member]を使用するため、sign属性を“-”に設定します。</p> <p><b>7-2 セグメント表の各項目とディメンションメンバーとの対応関係</b></p> <p>(内容は『報告書インスタンス作成ガイドライン (IFRS適用提出者用) (案)』を参照してください。)</p>						No	区分	項目	インラインXBRLの入力値(※1)	タクソノミ		貸借区分	計算リンクの加減算区分	1	財政状態計算書	資産項目	プラス	debit	1	負債又は資本項目	プラス	credit	1	控除項目 (例: 自己株式)	プラス	上記設定の逆 (例: 自己株式はdebit)	-1	資本項目のうち、残高が正負のいずれにもなり得るもの (例: その他の資本の構成要素)	貸方残はプラス 借方残はマイナス	credit	1	5	セグメント情報	収入項目(※2)	プラス	要素に依存	計算リンクには出現しない	<p>5-5 インラインXBRLファイルの作成 (略)</p> <p>5-5-1 数値の入力符号及び符号反転ラベル (negated ラベル) が設定された項目によるタグ付けの注意点 (略)</p> <p style="text-align: center;">図表 5-5-2 数値の入力符号</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">インラインXBRLの入力値(※1)</th> <th colspan="2">タクソノミ</th> </tr> <tr> <th>貸借区分</th> <th>計算リンクの加減算区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1</td> <td rowspan="4">財政状態計算書</td> <td>資産項目</td> <td>プラス</td> <td>debit</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>負債又は資本項目</td> <td>プラス</td> <td>credit</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>控除項目 (例: 自己株式)</td> <td>プラス</td> <td>上記設定の逆 (例: 自己株式はdebit)</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>資本項目のうち、残高が正負のいずれにもなり得るもの (例: その他の資本の構成要素)</td> <td>貸方残はプラス 借方残はマイナス</td> <td>credit</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p>						No	区分	項目	インラインXBRLの入力値(※1)	タクソノミ		貸借区分	計算リンクの加減算区分	1	財政状態計算書	資産項目	プラス	debit	1	負債又は資本項目	プラス	credit	1	控除項目 (例: 自己株式)	プラス	上記設定の逆 (例: 自己株式はdebit)	-1	資本項目のうち、残高が正負のいずれにもなり得るもの (例: その他の資本の構成要素)	貸方残はプラス 借方残はマイナス	credit	1
No	区分	項目	インラインXBRLの入力値(※1)	タクソノミ																																																																	
				貸借区分	計算リンクの加減算区分																																																																
1	財政状態計算書	資産項目	プラス	debit	1																																																																
		負債又は資本項目	プラス	credit	1																																																																
		控除項目 (例: 自己株式)	プラス	上記設定の逆 (例: 自己株式はdebit)	-1																																																																
		資本項目のうち、残高が正負のいずれにもなり得るもの (例: その他の資本の構成要素)	貸方残はプラス 借方残はマイナス	credit	1																																																																
5	セグメント情報	収入項目(※2)	プラス	要素に依存	計算リンクには出現しない																																																																
No	区分	項目	インラインXBRLの入力値(※1)	タクソノミ																																																																	
				貸借区分	計算リンクの加減算区分																																																																
1	財政状態計算書	資産項目	プラス	debit	1																																																																
		負債又は資本項目	プラス	credit	1																																																																
		控除項目 (例: 自己株式)	プラス	上記設定の逆 (例: 自己株式はdebit)	-1																																																																
		資本項目のうち、残高が正負のいずれにもなり得るもの (例: その他の資本の構成要素)	貸方残はプラス 借方残はマイナス	credit	1																																																																